

西成公民館だより

発行：西成公民館 発行日：令和4年(2022)8月1日 第132号
〒491-0012 一宮市小赤見字郷浦53(西成出張所内) ☎0586-77-3512

本年度の西成公民館三大事業の予定

家庭学習部、成人学習部、女性学習部、体育レクリエーション部の部会が5月9日～12日にわたって開かれ、事業案の審議と講師への依頼を経て5月末に4年度の実業案ができ上がりました。案は総会に諮る必要がありますが、コロナ禍中の会議室人数制限で総会を開けないため、6月初旬関係者全員に議案を送付し「書面表決」で議決(承認)していただきました。

前号でお知らせしたように、国政及び地方選挙による影響(西成公民館が期日前投票所となるため利用できなくなる)や、建物全体の空調工事による影響は考慮しましたが、新型コロナウイルスの防止対策も重要な課題です。特に不特定多数を対象とする「公民館三大事業」(公民館夏祭り・校下町内運動会・西成文化展)においては多くの防止対策導入が必要です。

そのため、先ず7月の「夏祭り」については数度にわたって執行部と主管の家庭学習部で協議をおこない、抽選による花火セット200組無料配布や百円クジで当たるカブトムシセットプレゼントなど、盆踊りに代えて「夏の楽しい思い出作り」になるよう「子ども中心の企画」を用意しました。

「町内運動会」は体育レクリエーション部の主管です。これまで西成連区では各校区独自の進め方で運営されており、今年も(実施の可否も含め)瀬部・西成・赤見・浅野の各校区の判断に委ねることになりました。成人学習部の主管である「西成文化展」は来年2月の予定で、以下の各講座が終わってから本格的な準備に入ることになります。

各学習部担当の講座／スポーツ大会の予定

<家庭・青少年学習事業>

- 12/3(土) 9:30～11:30 西成公民館
リース作り 講師：磯貝 智美氏
- 12/10(土) 9:30～11:30 西成公民館
DNAの模型を親子で作ろう 講師：中島 美幸氏

<成人・高齢者学習事業>

- 12/1(木) 19:00～20:30 西成公民館
楽しく学ぶ！認知症予防講座
講師：明治安田生命
- 12/8(木) 19:00～20:30 西成公民館
落語 講師：岡田 茂樹氏(経大亭勝笑)

<女性学習事業>

- 12/7(水) 9:30～11:30 西成公民館
マジック教室 講師：小川 慶子氏

- 12/14(水) 10:00～11:30 西成公民館
今から取り組もう！防災講座
講師：明治安田生命

<体育レクリエーション事業>

- 9/11(日) 9:00～12:00 西成小・中学校
ビーチボール大会 屋内運動場
- 10/16(日) 9:00～12:00 瀬部スポーツ広場
ソフトボール大会
- 10/23(日) 9:00～12:00 瀬部スポーツ広場
ソフトボール大会
- 11/27(日) 9:00～12:00 赤見小学校
女子バレーボール 屋内運動場

一宮市公民館指導者研修会

尾西生涯学習センターで6月18日に開催され、熊澤館長・桑山副館長（浅野）・村上副館長（赤見）・山田赤見校下副委員長・伊藤浅野校下副委員長の5名が出席しました。

講師は岐阜市民総合体育館館長の桐木博俊氏で「人が集まる講座とは」と題し、7つのT（テーマ、ターゲット、タイム、タイミング、タイトル、タイムリー、チームワーク）が企画立案のコツであるという話しをされました。パワーポイントで実例を示しながらの説明で大変に分かり易い講演でした。



報告された活動拠点「ハートフルスクエアG」はJR岐阜駅隣接の大きな施設で、参加呼びかけ区域が岐阜市全体であることなど、事業スケールの差を感じました。

優良公民館視察研修会

5月12～13日、3年ぶりに館長協議会の視察研修会が実施され、福井市の「河合公民館」と越前市の「南中山公民館」を訪問しました。15名の連区公民館長が参加しました。

福井県は教育県として有名で、公民館の社会教育活動も大変盛んです。地域づくりに熱心な若手人材を採用し各公民館に配置しています。河合公民館と和田公民館（高浜町）は全国4つの優秀公民館（優良公民館は数十館）として文科大臣賞を今年受賞しました。ただ高浜町は福井市と逆方向

にあることから、福井市と同方向で3年度に優良公民館表彰された越前市の南中山公民館が代替りの訪問先に選ばれました。

どちらの公民館ものどかな農村地帯にあり、河合公民館は西成公民館より小規模な施設、南中山公民館は地域文化広場のような大きい複合施設でした。河合は音楽活動、南中山は子どもの学習活動をテーマに事業が実施されていました。



演奏を披露する河合公民館スタッフ

両館にはそれぞれ2時間半をこえて滞在し活発な質疑応答が交わされました。

It Takes a Village to Raise a Child.

逐語訳をすると「子どもを育てることは村を必要とする」となります。米国の女性大統領候補だったヒラリー・クリントンの著書のタイトルで有名になった格言です。

子どもが育つためには家庭に加えて地域社会が不可欠だと言っているわけです。子どもを取り巻く環境はIT（アイティー／コンピュータネットワーク技術）の発達ですっかり様変わりしてしまいました。けれども社会性を育む場として地域社会の重要性は変わりません。

連区公民館は地域住民の学習の場として作られた施設です。子どもたちにとってもそのような場にできればと思います。ご提案があれば推進委員さんなどを通じてお知らせください。

手洗い、マスクの着用、三密の

回避を心がけましょう！

